

写真: 1月8日、若園交流館で行われた新成人を祝う会(関連記事: 29)



も く じ

- 2** まちかどクローズアップ
新成人を祝う会、消防出初式
環境モデル都市シンポジウム
- 10** とよた情報満載
市食品衛生監視指導計画の素案に
ご意見をお寄せください
ものづくりなぜなぜプロジェクト
平成24年度参加者募集
3月の相談
3月1日(木)~7日(水)は
「平成24年春季全国火災予防運動」ほか
- 22** 救急診療、カレンダー
- 4** 特集
既存施設を有効活用した新たな待機児童
対策にご意見をお寄せください
- 23** 外国語情報コーナー
- 6** とよた・ひと・まち
ふるさと紀行／はっぴーベビー／
やるじゃん！／ぶらり市民レポーター
タウンレポート(旭高原元気村雪そりゲレンデ)
- 24** 環境モデル都市とよたの取組
豊田市が「地域活性化総合特区」に
指定されました
広報雑記

豊田市が「地域活性化総合特区」に指定されました 次世代エネルギー・モビリティ創造特区

エネルギーや次世代自動車を生かして、新たなまちづくりに挑戦します

Q. 「地域活性化総合特区」ってなに？

A. 先進的なまちづくりに取り組む自治体などを、国が集中的に支援する制度です。特区の指定を受けると、法律の特例が認められたり、国からの補助を受けることができます。

Q. 豊田市はどんな特区を目指しているの？

A. 豊田市が力を入れてきた3つの分野(エネルギー、交通、新しい産業)を組み合わせ、環境にやさしいまちづくりに取り組みながら、地域の景気と市民の暮らしの満足度の向上を目指します。

取組① エネルギーの地産地消



(例)スマートハウス[※]の普及、電気自動車、プラグインハイブリッド車の蓄電池を災害時の電源として活用する[※]

※ 太陽光発電や家庭用蓄電池などを、通信技術を使い電力を効率的に使用できる住宅

取組② 快適で安全な交通



(例)燃料電池バス導入と水素ステーションの整備、高齢者でも安全に運転できる自動車の導入[※]

取組③ 新しい産業の創出

(例)小水力発電など環境エネルギー分野の新たな産業を研究・開発・誘致



●問合せ 環境モデル都市推進課(☎34・6982)



【編集・発行】
豊田市役所総合企画部広報課
毎月1日・15日発行
〒471-8501 愛知県豊田市西町3-60
☎ 0565・31・1212(代表)

※「広報とよた」と「市勢ガイド」がホームページでご覧になれます(携帯電話用を除く)

ホームページアドレス
<http://www.city.toyota.aichi.jp/>
携帯電話用ホームページアドレス
<http://www.city.toyota.aichi.jp/m/>



広報とよたは、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない氷なし印刷方式を採用しています

で。観光協会(☎83・3000)ま
(K) 寒 さからつい家にこもりがちになってしまふ。そんな冬の冷え込みをうまく利用して、訪れる人を楽しませている稲武の氷瀑。地元の人が山から湧き出る清水をかけて、ツララを少しずつ大きくして造った高さ、幅ともに15層を超える氷の滝で、氷の厚みが増すごとに透明から白色、そして青味を帯びるように変化している。夜にはライトアップされ幻想的な雰囲気を楽しめる。見ごろは2月中旬までとのこと。お出かけの際は寒さ対策と車の運転に十分ご注意を。問合せはいなば